



令和5年度全国学力・学習状況調査の結果と今後の取組について

本年4月18日（火）に、小学6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が7月末に文部科学省から公表されました。この調査は、児童の学力学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。さらに、このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することが目的とされています。

一方、調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面です。また、本校は小規模校で、対象学年の児童数が少なく（本年度は15名）、割合で表すと一人当たり約6.7%になります。このことを十分考慮したうえで、成果や課題を学校・家庭・地域で共有し、取組をさらに充実させていきます。

1 教科に関する調査の結果

平均正答率（％）	本校(全国との比較)	三重県	全 国
国 語		67	67.2
算 数		62	62.5

2 各教科の結果分析

(1) 国語の結果分析

調査問題は14問です。本校では全国平均より高かったのは8問、低かったのが6問でした。

右の表は内容別、観点別、問題形式別の正答率です。問題形式別の短答式が-6.0%ですが、これはこの後で述べる漢字の書き取り2問のうちの1問の正答率が非常に低かったことによります。

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)			
			天名小	全国 (公立)	全国と の差	
全体		14				
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	69.3	71.2	-1.9
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	66.7	63.4	3.3
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	80.0	72.6	7.4
		B 書くこと	1	40.0	26.7	13.3
		C 読むこと	3	68.9	71.2	-2.3
評価の観点	知識・技能	7	68.6	68.9	-0.3	
	思考・判断・表現	7	69.5	65.5	4.0	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	9	74.8	73.6	1.2	
	短答式	2	56.7	62.7	-6.0	
	記述式	3	60.0	51.1	8.9	

個別の問題で見ると、今回全国平均と比べて一番悪かったのは、「**1**三(1)ア」の漢字の問題でした。

全国平均が52.8%に対して本校は26.7%で、26.1%低かったです。正解の「意外」と書いていたのは4名で、「以外」と書いていた児童が8名いました。

その一方、漢字を書く次の問題「**1**三(1)ウ」の正解率は86.7%(13名)で全国平均より14.1%高かったです。

昨年度の学力調査の漢字の問題でも、「はんせい(反省)」は全国平均を15.2%上回っていましたが、「ろくが(録画)」は21.7%下回るなど、漢字によって大きな差が出ました。

普段のノートや作文を書くときに適切な漢字を書くようにこまめに指導していきます。

雑草取りを続けたのですが、アいがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。

ウきかんは7月1日から15日までです。

(1)

部ア、ウを漢字ででないに書きましよう

全国平均と比較して、次に悪かった問題は「**3**三」の「日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる」問題です。

全国平均が57.6%に対して本校は46.7%(7名)で、10.9%低かったです。

正解の、「〇〇さんがおっしゃったことを、もう一度うかがっていいですか。」を選択した児童は7名でした。

誤答としては、「〇〇さんがおっしゃったことを、もう一度お聞きになっていいですか。」を選択した児童が5名いました。また、選択肢(1~4)ではない「ア」や「イ」と解答した児童もそれぞれ1名いました。

普段の学校生活の中で、正しい言葉遣いや丁寧な言葉を使うように、どの学年でも指導していきます。

4	3	2	1
ア	ア	ア	ア
申した	おっしゃった	申した	おっしゃった
イ	イ	イ	イ
うかがって	お聞きになって	お聞きになって	うかがって

聞きのがしたことを相手に確かめるとき

〇〇さんが **ア** ことを、もう一度 **イ** いいですか。

三 谷さんは学習をふり返り、インタビューをするときの敬語の使い方について、ノートにまとめます。次の【谷さんのノートの一部】の **ア** と **イ** に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【谷さんのノートの一部】

(2) 算数の結果分析

調査問題は 16 問です。本校では全国平均より高かったのは 15 問、低かったのが 1 問でした。

児童質問紙の「算数の授業の内容はよくわかりますか」という質問にも、「はい」「どちらかといえばはい」と回答した児童は 93.3% で、理解ができていない児童が多いと考えられます。

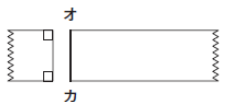
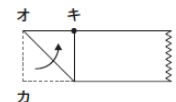
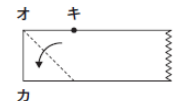
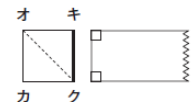
分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			天名小	全国(公立)	全国との差
全体			16	5	
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	75.6	67.3	8.3
	B 図形	4	61.7	48.2	13.5
	C 測定	0			
	C 変化と関係	4	78.3	70.9	7.4
	D データの活用	3	77.8	65.5	12.3
評価の観点	知識・技能	9	77.0	67.2	9.8
	思考・判断・表現	7	66.7	56.5	10.2
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	5	69.3	57.7	11.6
	短答式	7	81.0	74.7	6.3
	記述式	4	61.7	47.3	14.4

唯一全国平均より低かった問題が右の問題です。

全国平均が 87.2% に対して本校は 80.0% で、7.2% 低かったです。正解の「正方形」と解答した児童は 12 名で、誤答は 2 名が「三角形」1 名が「すべて等しい四角形」でした。

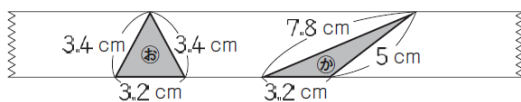
次に、ゆいなさんは、下のようにつくり方で四角形をつくりました。

【ゆいなさんのつくり方】

- ① 上の直線に垂直な直線オカで切ります。

- ② 右の図のように、直線オカが上の直線に重なるように折り、点キが重なったところを点キとし、印をつけます。

- ③ 折ったものをもとします。

- ④ 点キを通して、上の直線に垂直な直線キクで切ると、四角形オカクキができました。


上のつくり方でできた四角形オカクキは、どのような四角形ですか。その四角形の名前を書きましょう。

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の 2 つの三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

一方、左の問題は全国平均正答率が 20.8% で、今回の算数で一番低かった問題です。

本校のこの問題の正答率は、全国の 3 倍の 60.0% (9 名) で、全国より 39.2% 高かったです。

誤答は、「3」を選び「2 つの三角形の底辺が等しい」ことは記述しているが、「2 つの三角形の高さが等しい」ことを記述していない児童が 2 名いました。また、「4」を選び「高さについて具体的な長さが示されていない」ことを書いている児童が 2 名いました。

3 児童質問紙・学校質問紙調査の結果

児童質問紙は、児童の生活や学習の様子をアンケート形式で問う調査のことです。生活の諸側面や豊かな心の育成に関わること、学習環境や授業等の教育活動などへの問いがあります。

また、学校質問紙は学校の規模、授業改善の取組状況、指導方法、新型コロナの影響等様々な質問に対して学校が回答するものです。

以下に本校の結果と特徴をまとめました。

【豊かな人間性（自己肯定感、社会への関心等）に関すること】

○昨年度は「自己肯定感やチャレンジ精神が低い。昨年度も同様の傾向があり、本校児童の課題である。様々な行事を通して成功体験を積み重ねて自信をつけさせたい。」と分析していましたが、本年度は15人中14人が肯定的な回答をしており全国平均を上回っています。残りの1名に寄り添いつつ、引き続き様々な行事を通して成功体験を積み重ねて自信をつけさせていきます。

○●地域の積極的な取り組みにより地域行事への参加はとても高いが、自ら地域や社会に貢献しようという意識が低いです。卒業後の愛エンジェル隊への加入を進める等の取り組みを進めます。

	本校	三重県	全国	全国との比較
自分には、よいところがあると思いますか	93.3	81.9	83.5	+9.8
将来の夢や目標を持っていますか	86.7	80.6	81.5	+5.2
人が困っているときは進んで助けていますか	100	92.3	91.6	+8.4
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	100	97.4	96.5	+3.1
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	86.7	68.3	68.5	+18.2
学校に行くのは楽しいと思いますか	93.3	84.0	85.3	+8.0
今住んでいる地域の行事に参加していますか	86.7	64.4	57.8	+28.9
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	73.3	77.9	76.8	-3.5

※数値は、各質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合(%)

【家庭生活（生活習慣）に関すること】

	本校	三重県	全国	全国との比較
朝食を毎日食べている	100	93.6	93.9	+6.1
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	86.7	80.1	81.0	+5.7
毎日、同じくらいの時刻に起きている	100	90.7	90.5	+9.5

【学習習慣に関すること】※昨年度まであった「ゲーム時間」の調査が本年度はなくなりました。

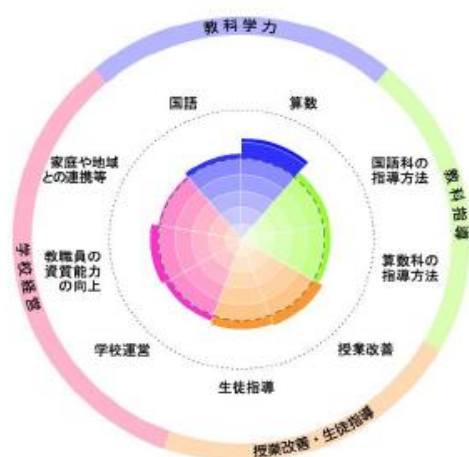
	本校	三重県	全国	全国との比較
家で自分で計画を立てて勉強をしているか (学校の授業の予習や復習を含む)	80.0	68.7	70.7	+9.3
平日の家庭学習が1時間以上の割合	40.0	54.0	57.1	-17.1
休日の家庭学習が1時間以上の割合	40.0	44.7	52.5	-3.6
平日の読書時間が10分以上の割合	60.0	57.2	60.0	0

●昨年度に引き続き家庭学習の時間が非常に少ないです。この課題解決に向け昨年の学校運営協議会と天名まちづくり協議会の青少年育成部会で熟議をしていただき、家庭学習チェックシートを作っていました。本年度も引き続きこのチェックシートを活用し、家庭学習の充実を図っていきます。

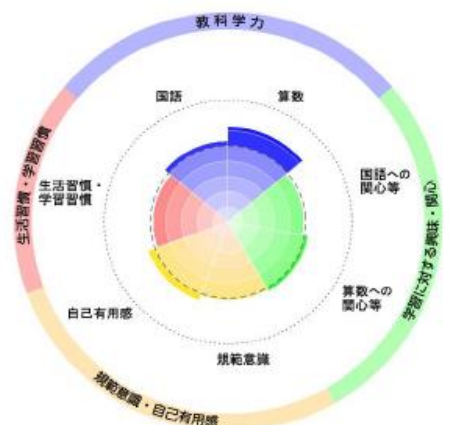
学校では、廊下に「自主学習がんばっています!!」の掲示コーナーを作り、宿題以外の自主学習を積極的に行うように意識づけている学年もあります。自主学習へのクロムブックの活用も考えていきます。



【学校運営】
学校質問紙(全国基準)



【児童生徒】
児童質問紙(全国基準)



昨年の青少年育成部会で学力向上に向けて熟議してもらった時に出た様々なアイデアの中で今年度に新たに実施したものです。

- ①『地域振興部会が作成した「天名歴史探索マップ」を活用した歴史講座』
⇒天名マイふれあいフェアの時に6年生に「天名の歴史」の授業をしてもらいます。また、「天名歴史探索マップ」は2年生の町探検の時に活用させていただきました。
- ②『愛エンジェル隊に学習指導をしてもらおう』
⇒8月28日、29日実施し2日間でのべ59名の児童が学習しました。



4 文部科学省の質問紙調査の分析（一部抜粋）と天名小の結果

文部科学省では、質問紙調査の結果を以下のように分析しています。

(1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組状況

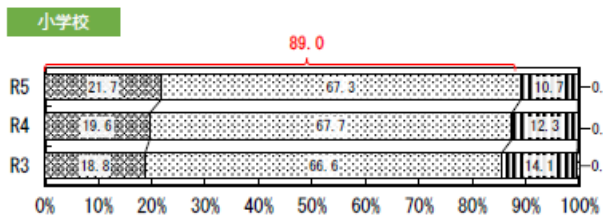
分析結果のポイント

- 昨年度までと同様、各学校において、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の取組が実施されている。また、主体的・対話的で深い学びに取り組んでいる児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られる。
- 昨年度までと同様、個別最適な学び（個に応じた指導）・協働的な学びに関する取組が実施されている。
- 授業の中で、主体的・対話的で深い学びに取り組んだ児童生徒は、家庭の社会的経済的背景（SES）が低い状況にあっても、各教科の正答率が高い傾向が見られる。

① 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

【学校】 調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか。

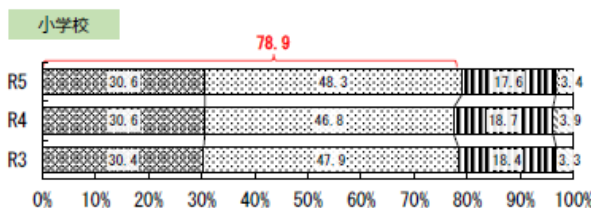
そう思う
 どちらかといえば、そう思う
 どちらかといえば、そう思わない
 そう思わない



天名小学校の学校質問紙では「そう思う」と回答しました。

【児童生徒】 5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない



天名小学校の児童質問紙の結果です。「そう思う」「どちらかというところ思う」と肯定的な回答が全国や三重県に比べて非常に高いです。

質問番号	質問事項										
	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	60.0	26.7	13.3	0.0						0.0	0.0
三重県（公立）	30.7	48.4	17.2	3.6						0.0	0.1
全国（公立）	30.5	48.3	17.7	3.4						0.0	0.1

